



とくていひえいりかつどうほうじん

特定非営利活動法人



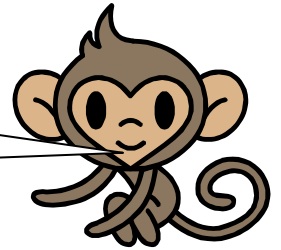
じりつしえん

自立支援センター おおいた

だい 第 17 号 発行年月日:2009年 5月11日 (月)
 発行元: 特定非営利活動法人
 自立支援センターおおいた
 編集担当者: 五反田法行

新聞17号

見てくださる



平成20年度別府市障がい者ピア・サポート強化支援事業で調理器具を購入しました。

～新しい調理器具で自立生活に向けたサポートの幅が広がります～



『別府市障がい者ピア・サポート支援事業』とは障がいを持たれた方の地域での自立生活を支援する団体や生涯学習を行い、生きがいや目標を見つけてもらう活動を行っている団体等の活動を支援する事を目的にした事業です。

今回、当センターはミキサーや圧力鍋、お菓子作りに必要なボウルや計量スプーンなど多種に渡る物を購入しました。自立生活プログラムで自立生活を目指している障がいを持た

れた方がヘルパーさんに協力してもらい、様々な料理やお菓子作りに挑戦ができるようになりました。また、料理イベント

にも活用していきたいと考えています。今後も一人でも多くの障がいを持っている方に、地域での自立生活を目指し、自立生活をスタートして頂ける様、サポートしていきます。

記事担当: 首藤健太

自立生活プログラムで調理体験



ドイツ製の圧力鍋



電動ミキサー



電動泡だて器

第7回福祉フォーラムin別府速見

「防災訓練を通してまちづくりを考える別府市民フォーラム」開催！

2009年3月7日(土)に、「防災とまちづくりを考える」別府市民フォーラムが、別府市のニューライフプラザ2階多目的ホールにて、(福祉フォーラムIN別府速見実行委員会)主催のもと開催されました。会場には約100名の方々が参加され、災害における要援護者の防災について、どのように考えていくべきかを、体験談や調査報告をもとに話し合われました。

まず初めに、昨年(2008年)の12月7日に別府市千代町で行なわれました総合防災訓練の様子を報道したニュース番組が上映され、この取り組みに関して、大分県社会福祉協議会の村野淳子様より「防災訓練から見えてきたこと」ということで基調報告がありました。



内容としては、新潟県の三条水害の時に老々介護の為に避難ができずお二人共が亡くなるということが起きたことを重要視して、平成17年3月に「国の災害時要援護者の避難支援ガイドライン」を作成したというお話しから、12月7日に行なった避難訓練の様子や避難所点検について、また、実際に避難訓練に参加された皆さんへ配布されたアンケートの回収結果についてご報告頂きました。

村野さんのお話しの最後に「誰もが安心して暮らせるまちをつくるのが望ましい未来だとするならば、みなさんがそのために何をやるかということを考えて行動してほしい」というお言葉があり、すべての人が自分や周りにいる人達の命を守る為に何をすべきかを深く考える貴重な時間になったと感じました。

続いて、体験報告「防災訓練に参加して」ということで、千代町の自治会長さんのコメントが読み上げられ、また、当日、避難訓練に参加した障がい当事者である当センタースタッフの五反田より、自宅のあるマンション6階から非常階段を利用した避難の大変さ等について話しをしました。

続いて、別府市消防本部予防課長(消防指令長)の渡辺正信氏よりビデオにて、これまで経験されてこられた体験を踏まえながら、消防からの提言ということで、防災についての取り組みや心得や備え等々について

とても重要なお話しをお寄せ頂きました。

続いて、別府大学の篠藤教授をコーディネーターに、シンポジストとして、別府市自治振興課危機管理室長の三瀬まさのり氏、県社協の村野淳子氏、自立支援センターおおいたから五反田法行と杉本孝生が参加し、「防災とまちづくりを考える」をテーマに議論が行なわれました。この中で三瀬室長からは、「自助・共助・公助の重要性が共通理解となりそれが今回の訓練に繋がった」ということで住民自らが中心となつて行なわれた千代町での避難訓練に謝辞が述べられました。また、要援護者を把握する為の登録数が500名余りに留まっている状況の中で、昨年、民生・児童委員が、高齢者・一人暮らし、障がい者の方々を一軒一軒回って要援護者の把握にご尽力頂いたことを明らいたしとし、これらを活用しながら行政と民生委員、自治会の防災組織と連携し、少しずつではありますが解決に向けて努力をしていきたいというお話しをされていました。

最後に、私たちの提言「防災・まちづくり・条例」ということで、在宅障害者支援ネットワーク代表の徳田靖之氏より、「災害時にどのような安全をつくるか」という問題は、私たちの町がどれほど隣近所の人たちのことをお互いよく知っていて、困ったときに助け合える『ネットワーク』を私たち自身がどうつくっていくのかということになる」というお話しをされ、そのためには、「障害のある人もない人も誰もが安心して暮らしていける千葉県条例」のようなものが大分でも必要であると話され終了しましたが、今回も本当の内容の濃いフォーラムとなりました。

【記事担当：河野 龍児】

ホワイトデーお菓子作り開催

3月14日(土)ホワイトデーは皆さんどう過ごしましたか？

僕は『みんなでお菓子作り』企画に参加してきました。参加理由はというと...暇だったのもありますが、自分自身が生まれてこのかた、料理に全く興味がなく過ごしてきたので、何かしら良いきっかけにならないかと軽い気持ちで参加してきました。

会場の「ユニバーサルスペース 夢喰夢叶」についてみると、エプロンをされた方が目に入り「あれっ？本格的なの？」早速、少し後悔していました。

そんな中で、はじまったわけですが、自分を含め障がいを持たれた方も健常者も一緒に作り、作業をする中で緊張もほぐれて、少し時間がたつころには笑いの絶えない中、生地を混ぜたり、引き伸ばしたり、初心者のため失敗ばかりでしたが心地よい時間が過ぎていました。

今回、お菓子作りを初めて経験したのですが、結果としては僕でもクッキーは作れるようになったと少し調子に乗っています。(笑)

それこれも講師の先生をはじめ、ご協力していただいた皆さんのおかげで感謝しています。「また参加したいな」と素直に思える企画でした。



【クッキーの型抜きうまくできてる？】



【あれ？入れすぎ？】

(担当:若杉竜也)

第23回自立生活プログラムフィールドトリップ

『春だ！祭りだ！お花見だ！ 別府まちなかウォークラリー』開催？！



お花見交流の様子(夢喰夢叶にて)

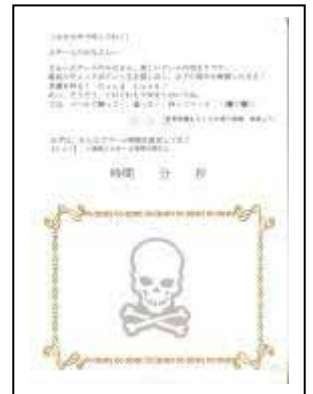
4月4日(土) 待ちに待ったお花見交流イベントの当日を迎えました。やったあ...と、思いきやなんとあいにくの雨模様。せっかくの桜が...、せっかくの温泉祭りが...、そして、考えに考え準備したまちなかウォークラリー企画が、儚く散って行きました。(o^o^o) そりゃないよ

たけど僕らは負けないのだ！桜は見れなかったけれど、参加してくれた皆さんと、豪華なお花見弁当を食べながらカラオケで盛り上がり、おしゃべりで大盛り上がり、とっても楽しい時間を過ごすことができました。ご参加頂きました皆さまに感謝！感謝！です。

フィールドトリップって、障がい当事者の方たちの自立のトレーニングという一端はあるけど、やっぱり、楽しいのが一番ですね。

ただ、担当として心残りなのがこの右側に掲載した2枚の謎の紙。これは、まちなかウォークラリーで使うはずだった大切なアイテムの一つ「指令書」です。この指令書に従ってやるはずだったのにマジで残念。どうですか？この凝った作りの指令書の出来は？仕事をサボって...、イヤイヤ、仕事の合間に頑張って制作しました。

勿体無いので、いつかこの指令書を利用してウォークラリーを実現しますので、その時は是非ご参加下さいね！



もくひょうたっせい
目標達成！！

！ありがとうございました！

ちょうど1年前の2008年5月15日、自立支援センターおおいたスタッフの
河野さん・安富さんのサポートの下『1年後の自分』というテーマで目標をたて
ました。それは「1年後は自立生活をしている。自分らしく毎日をいきいきと暮
らしている。」というものでした。

そして、今、わたしは親元を離れ別府市で一人暮らしをしています。多くの
方々の様々なサポートのおかげで、毎日を無事に楽しく過ごすことができいま
す。センターのみなさんやヘルパーのみなさん、そして家族や友人の支えや
応援があったから、ここまでこれたんだと心から感謝いたします。本当にありが
とございました！

1年前は自信のなさから、少しはずかしいような気持ちで目標を書いたことを思い出します。先日、その目標
シートを読み返す機会があり、今年の自分と、今、現実で一人暮らしをしている自分を照らし合わせ、感激で
胸がいっぱいになりました。ほんとに「すごい！！目標が現実になってる！」って感じです(^-^/

2007年の秋ごろから自立生活を考えるようになり、センターへ相談させていただき、2008年春より本格的
にピアカウンセリングを受け始めました。ILP(自立生活プログラム)では目標を年間・月間・週間と立てて、それ
に基づき具体的に一つずつ進めていきました。そして、心のケアであるピアカウンセリングがわたしの心の
元気を取り戻してくれて、1年間、センターへ通うことができたと思います。また、センターで働くスタッフのみな
さんの姿と介助についてくださるヘルパーさんの質の高さは、わたしを自立生活に向かわせる大きな力となり
ました。

たくさんの方々のサポートがあり、目標の一つ達成できたこの喜びを、これから仕事につなげていきます！まだ
まだ勉強中ですが、今度は「誰かのお役に立つこと！」を目標にがんばっていきます(*^-^*) これからもどう
ぞよろしくお願ひいたします

記事担当: 平川 多美子

はじめまして

平成21年4月1日より、自立支援センターおおいたの職員となりました伊藤
麻美です。初めて社会に出て行き、親元から離れ、一人暮らしをしながらの
生活で全てが初めてのことで、緊張と不安とわくわくで一杯の私ですが、皆様
に、色々とお迷惑をおかけすると思いますが、これからよろしくお願ひします。

少しだけ、私の自己紹介をさせていただきます。私の生まれは、山香町で、
すぐに、北九州へ、1歳の誕生日に、福岡県久留米市へ引越し、20年間育ち
ました。そして、就職を考えた時に、大好きな大分県別府での就職を考えて
いました。短大の先生に相談し、先生が、大学時代に当センターでバイトをし
ていたと言うことでHPを拝見しました。「当事者主体」の理念と色々な活動や事業をされている事にすごく
興味を持ち、先生の紹介で、2日研修と面接をさせて頂きました。もし、当センターで働く事になったら、自分
が、今まで経験したことのない、色々な体験・経験が出来るのではないかと、又、自分自身の成長と何かが自分
の中で変わるのではないかという思いと、当センターのスタッフになりたいと、強い思いに変わりました。そして、
今年の4月から当センターのスタッフとしてお世話になる事になりました。これからよろしくお願ひします。

記事担当: 伊藤麻美



「男の人には分かりません(笑)」

3月28日にメイクレッスンが行われました。講師は当センターのヘルパーであり、昨年12月からエステイベントを行って下さっている大原喜子さんです。大原さんは過去に美容関係のお仕事をされており、プロのエスティシャンへ講師をしたり、ブライダルショーで花嫁さんへのショーメイク経験があったりと、とにかく凄い人！現在も最新美容を貪欲に学ばれています。



当センターでエステやメイクイベントをして頂く様になったのはヘルパーとして利用者の方と関っていて、障がいがあっても綺麗になりたい！という想いがあるのに障がいがあるから諦めてしまっている。メイクやエステを通して一人でも多くの女性当事者が地域へでるきっかけに…。当事者と健常者が一緒にエステやメイクを楽しむ事で美のバリアフリーが出来ないかと考えられたからでした。

当日は1時間30分に3人×3セット、9名の参加者。第1回目は、ベース・コンシーラー・アイブロウを教えて頂きました。ベースは某美容家さんお勧めのBBクリームを使用。耳にはするけど、使った事のない方が殆どで、使ってみて「どんだけえ〜」と叫んだ人は居ませんが(笑)肌再生効果と化粧効果があることに皆さん驚きでした。そして眉。眉1つで印象って大きく変化するんですね。

参加された方、一人ひとりにその人が一番美しく魅せるメイクを、また自分が持っている化粧品でのメイクの仕方を教えて下さいました。普段と違う自分で嬉しい、雑誌などを見てもイマイチ分からないから来て良かったと言ひ残し、皆様デートやお友達との約束にお出かけされました。

もちろん手が不自由な方は当センターのヘルパーがメイクサポート。サポートがあるだけで今まで諦めていたメイクが出来て気持ちが明るくなる事に私自身も改めて気付かされました。自立支援センターおおいたではこれからも誰もが綺麗になれるユニバーサルな場を提供出来たら良いなと思っていますので皆さんお楽しみに！！

記事担当：鎌地利子

「これぞ！男の料理『魚』」



平成21年2月21日、釣りバカ3人組(江口・平野・藤野)が得意の魚釣りで企画モノを作ろうと考えて開催した今回の企画！！その名も『これぞ！男の料理『魚』』。魚は先に釣っておいて、それを一緒に料理して食べてもらおうといった企画でした。小学生の参加もあり、あまり魚を捌くことがないという方がいたので面白いイベントになると当日を楽しみにしていましたが…前日に雨が降り、どうも風が強くて釣りどころではないのでは？？ととりあえず早朝釣りに行ってから後のことを考えようと、朝

4時から助っ人？の自称釣り好きの女性スタッフ中島さん、大学院生の出口くんが加わって実釣開始。湾内でアラカブとメバルを狙って暗い中、竿を出していると平野さんにHIT！上げてビックリの30センチクラスのアラカブGET(*^^)vこれは好機と張り切って竿を出すも後が続かず、いつの間にか日が昇り、場所を変えながらテトラポットのすき間に落とし込むと反応が！！アラカブを数匹釣り上げたものの、TIME UPにて納竿し、向かった先は…魚の直売所へ(T_T)サバ・アジ・メバルを買って夢叶夢喰へ直行。炊飯ジャーの釜だけ用意してジャーを忘れかけるわ、炊飯ジャーを持ってきてもらう予定になっていたスタッフは中の釜を忘れてくれるわでハプニング続きで始まったわけですが、江口さんはメバルの唐揚げあんかけ風とアラカブの味噌汁、私藤野はサバの琉球とアジ・アラカブの刺身、平野さんは総監督を担当し(-.-)y`順調に料理が出来上がっていきました。ハプニングが続いたこともあって少し時間が押しての試食になりましたが、活きのいい魚を料理した甲斐あって全て美味しくいただきました(^.^)v今回こういう形で魚を料理して食べるということをした経験がなかった分段取りがうまいかなかったところはありました。それでも参加していただいた方々に喜んでくれたことに今回のイベントを開催した意義を感じました。『これぞ！男の料理PART』はどんな料理をするか策を練らなければ…(..) メモメモ

記事担当：藤野弘聡

だい かい こうえんかい
第3回ピア・カウンセリング講演会

2009年03月14日(土)に農協リハビリテーション「障害者自立支援施設 にじ」にて、「自立支援センターおおいたの取り組みをふまえた自立生活プログラム」というテーマで講演会を行いました。内容は、ピアカウンセリングや自立生活プログラムだけではなく「講演者自己紹介/事業所の説明/ILP・ピアカンについて/ユニバーサルデザイン/バリアフリー・ユニバーサルデザインコンサルタント/各事業」といった盛り沢山の内容で行い、約60名の方が参加されました。

最後の質疑応答では、他県でこの様なセンターがどれくらいあるのか？今度、当センターに見学に来て見たい！等、様々な質問や要望があり、とても熱心さが伝わってきました。今回の講演会が少しでも自立を目指す方々のきっかけとなっていたらと思います。

<http://ji.loita.sakura.ne.jp/777/piakan/2009314pia/index.html>

記事担当：安富秀和

開催場所	別府農協リハビリテーションセンター
日時	2009年3月14日(土) am10:00 ~ 11:00
会場	障害者自立支援施設 にじ
参加	約60名
講演	やすとみひでかず 安富秀和(ピア・カウンセラー)



せいねんこうりゅうさい
おおいた青年交流祭

平成21年3月14日(土)におおいた青年交流祭に参加させていただきました。

今回、スケジュールとしては、昼からの開催ではあったのですが、グループ討議と大交流会に途中から参加をしました。

16:00~のグループ討議から合流し、各班に分かれてテーマについて討論しました。私の班は討論内容としては「教育について」で、様々な意見が飛び交いすごく勉強になる内容でした。

その後、座談会ということで特別ゲストとして広瀬知事が来られ、各班でまとめたものを知事へ報告し、知事からお言葉を頂きました。座談会が終了し参加者全員で記念撮影をしてから大交流会にうつりました。

大交流会では食事を囲んで食べて・飲んで・話して交流をしました。

最後に今回の交流祭に初めて参加させていただいたのですがたくさんの方と知り合いになれ、すごく良い場だなと感じました。

記事担当：五反田法行

プログラム内容

14日		15日	
12:30	受付(青山小学校)	9:00	出逢いをパワーに！
13:30	開祭のつどい		コースに分かれて社会見学
14:00	今の時代だからこそ「しらしんけん」小運動会	12:00	閉祭のつどい
16:00	グループ討議(つるみ荘)		
18:00	座談会 特別ゲスト 広瀬大分県知事		
19:00	大 大交流会		

別府八湯 車いす温泉道名人への道 Part2

じりつしえん 自立支援センターおおいた職員の安富秀和です。今回、私が趣味で楽しみながら挑戦している「別府八湯 車いす温泉道名人への道」の経過報告を発表します。開始から 2ヶ月、ついに最初の目標である8箇所をクリアし 2009年02月03日(火)に「別府八湯車いす温泉道 初代初段」を得ることが出来ました。皆さんありがと～！車いす温泉道の仲間も増え「名人」への道、爆進中です。。。

<http://onsendou.web.fc2.com/yasu/onsenbeep/index.htm>

べっ ぶ お ん せ ん ど う 別府温泉「1湯」



きゅうしゅう やど 別府 JR九州の宿

べっ ぶ お ん せ ん ど う 別府温泉「2湯」



ホテル好楽

か ん な わ お ん せ ん ど う 鉄輪温泉「3湯」



熱の湯

か ん な わ お ん せ ん ど う 鉄輪温泉「4湯」



旅館入船荘

はまわきおんせん 湯 浜脇温泉「5湯」



ひ で お ん せ ん 日の出温泉

みょうばんおんせん 湯 明礬温泉「6湯」



ぶ ぜ ん や り よ か ん 豊前屋旅館

べっ ぶ お ん せ ん ど う 別府温泉「7湯」



の が み ほ ん か ん べっ ぶ 野上本館

べっ ぶ お ん せ ん し ょ だ ん 別府温泉「初段」



す え ひ ろ お ん せ ん 末広温泉

トリサポ戦記

～東京まで行った当事者サポのトリニータレポート～

みなさん こんにちはm(_)_m 『大分トリニータ』をこよなく愛する当事者スタッフの首藤です。

今回の17号から『トリサポ戦記』と題して『大分トリニータ』の情報をみなさんにお届けします。お付き合い下さい。

さて、今回のテーマは『試合当日ってサポーターは何時から行っているの？』トリニータのサポーターは熱狂的な方からご家族まで色々な方がいらっしゃいます。

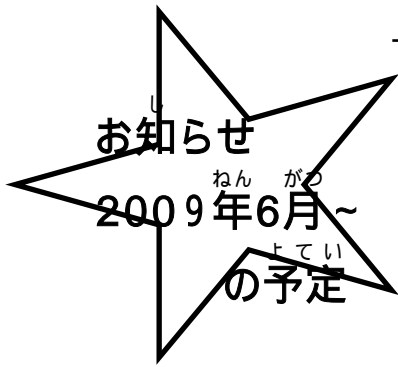
熱狂的サポーター(TVに移る青いユニフォーム来た人達の集まる所 通称「ゴール裏」)は入場の際の席取りの為に朝5時～6時には九州石油ドームに着いて並んでいます。

車椅子や障がい当事者も「早く並ばないといけないの？」というご心配もあるでしょうが、ご心配なく。障がい者用の優先席があるので、試合開始時間の30分前に着いても席は確保出来ます。ただ多少、試合が見えづらい角度の席になってしまうので、見やすい席で観戦したいという方は試合開始の3時間40分前に障がい当事者やベビーカーの方の優先入場となっているので、その時間に来ると他のお客さんより早く入れるので、席が確保できますよ。是非、九州石油ドームで大分トリニータの試合を生でご覧ください。

記事担当:首藤 健太

2009年 大分トリニータホームゲームのご案内(5月～7月開催分)

日付	試合時間	対戦相手	日付	試合時間	対戦相手
5/2(土)	14:00	ガンバ大阪	6/3(水)	19:30	サンフレッチェ広島
5/9(土)	14:00	横浜F・マリノス	6/28(日)	16:00	鹿島アントラーズ
5/20(水)	19:30	浦和レッズ	7/4(土)	19:00	ジェフユナイテッド千葉
5/23(土)	14:00	サンフレッチェ広島	7/18(土)	19:00	浦和レッズ



これから自立支援センターおおいたや自立生活センターおおいた
 では、楽しい催し物をぞくぞくと行っていきますので、ご家族・ご
 友人をお誘いの上、皆さんふるってご参加下さい。詳細は、1ヶ月前
 にチラシや市報などによりお知らせ致します。
 (催し物や日程は都合により変更の場合がございますので予めご
 了承下さい。)

《今後の予定》

日	程
6月13日(土)	フィールドトリップ「ツインバスケット交流会」
6月27日(土)	フィールドトリップ「第3回夜に別府の街で交流会」
7月17日(金)	夢喰夢叶イベント
7月18日(土)	わらしべ長者ウォークラリー
7月26日(日)	第5回メイクレッスン 総復習
8月21日(金)	夢喰夢叶イベント
8月29日(土)	サマーパーティー
8月30日(日)	第6回メイクレッスン 総復習(イメージメイク)

編集後記

新緑の青葉が繁る季節を迎え、皆様におかれましては、お変わりございませんか。
 今年の3月に日本が、WBCであるアメリカ、キューバ、韓国、などの強豪を撃破して連覇を達成した時
 は、感動したのでは無いですか、私は感激しました皆さんはどうでしたか。特に日本と韓国が決勝戦
 で戦って日本が勝って世界一になったのが印象的でした。
 センターの新聞17号が完成いたしました。今号もボリュームたっぷり読み応えが有ると思います。じっく
 り読んでくださいね、この新聞が発行される頃には5月も終わりで、まもなく夏がやって来ます。今年も
 自立支援センターおおいたでは、スタッフ一同力をあわせ、各種イベントを含め、様々なチャレンジをして
 いきますので応援宜しくお願いします。

記事担当：菰田修

主なサービスは次の通りです。

- 訪問介助サービス
- ピア・カウンセリング
- 自立生活プログラム
- 福祉各種無料相談
- 自立生活・バリアフリーセミナー
- バリアフリーコンサルタント
(ユニバーサルデザイン)

特定非営利活動法人 自立支援センターおおいた
 〒874-0942
 大分県別府市千代町13-14 二階・サマシヨウ 2F
 TEL: 0977-27-5508
 FAX: 0977-24-4924
 E-mail: ud111@jp700.com
 URL: <http://www.jp999.com/333/>

私達は利用者主体の介助サービスを提供しています

